

令和2年度 農作物病害虫発生予察9月月報

令和2年(2020年)10月5日
山口県病害虫防除所

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平均			最高			最低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
9.1	27.7	25.6	2.1	32.5	30.6	1.9	23.8	21.8	2.0
9.2	25.9	24.8	1.1	31.1	29.7	1.4	22.5	20.9	1.6
9.3	23.2	23.9	△ 0.7	28.5	28.8	△ 0.3	19.4	20.0	△ 0.6
9.4	22.0	23.0	△ 1.0	25.9	28.0	△ 2.1	18.6	19.0	△ 0.4
9.5	21.4	22.0	△ 0.6	27.1	27.0	0.1	16.6	17.8	△ 1.2
9.6	21.3	20.9	0.4	27.0	26.0	1.0	16.8	16.6	0.2
平均・計	23.6	23.4	0.2	28.7	28.4	0.3	19.6	19.4	0.3
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
9.1	1.0	29.0	△ 28.0	24.0	29.3	△ 5.3			
9.2	84.0	30.8	53.2	24.4	27.2	△ 2.8			
9.3	119.0	30.8	88.2	23.2	26.0	△ 2.8			
9.4	45.0	30.7	14.3	18.7	26.0	△ 7.3			
9.5	38.5	30.0	8.5	27.5	26.0	1.5			
9.6	0.0	25.6	△ 25.6	43.4	26.1	17.3			
平均・計	287.5	176.9	110.6	161.2	160.6	0.6			

II 作物の生育状況

- (1) イネ : 早生品種まで収穫済み。中生品種の成熟期は平年並みの見込み。登熟期間の高温、倒伏及び早刈りにより、減収や充実不足が懸念される。
- (2) ダイズ : 6月播種のものの子実肥大期で、着莢は平年並み。播種が遅れたものは莢伸長期～子実肥大期。生育量は小さい。
- (3) カンキツ : 果実肥大は平年並み、糖度は平年並みで酸は低めで推移している。高温乾燥で極早生、早生温州を中心に日焼け果が発生している。台風10号の潮風害で一部地域で落葉が認められる。
- (4) ナシ : 梅雨明け以降の高温により果実肥大は鈍化傾向であったが、平年並から大きめとなった。糖度は、梅雨明け以降の好天により平年並みから高めとなっている。
- (5) キャベツ : 8月下旬から9月上旬定植の作型では、ほ場の準備作業は順調に進んだものの、台風や秋雨前線の影響により定植後の茎葉の損傷や定植作業等の遅れが見られる。それ以外の作業は全般的に良好である。
- (6) イチゴ : 定植は9月下旬までに終了している。また、花芽分化程度は地域によってバラツキがあるものの、全般的に平年並みの傾向である。

Ⅲ 病害虫の発生状況

1 普通作物

2020年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イネ いもち病 (穂いもち) (調査ほ場数：中旬61 下旬35)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率6.6% (平年17.4%)、発病株率0.6% (平年3.6%)、発病穂率0.0% (平年0.6%)、発病度0.0 (平年0.3) で平年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率8.6% (平年25.5%)、発病株率0.5% (平年7.4%)、発病穂率0.0% (平年1.6%)、発病度0.0 (平年1.3) で平年に比べ少なかった。	県内全域	少 941
紋枯病 (調査ほ場数：中旬63 下旬42)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率11.1% (平年26.4%)、発病株率0.9% (平年5.2%)、発病度0.4 (平年2.1) で平年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率14.3% (平年34.3%)、発病株率1.0% (平年7.4%)、発病度0.5 (平年2.9) で平年に比べ少なかった。	県内全域	少 1,646
ごま葉枯病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率34.9% (平年22.5%)、発病株率18.5% (平年12.2%)、発病度5.6 (平年3.2) で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率38.1% (平年30.1%)、発病株率23.4% (平年17.7%)、発病度7.3 (平年4.9) で平年に比べやや多かった。	県内全域	多 470 中 1,411 少 3,292 計 5,173
白葉枯病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.2%)、発病株率0% (平年0.6%)、発病度0 (平年0.1) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.3%)、発病株率0% (平年0.7%)、発病度0 (平年0.1) で平年並みであった。	—	—
もみ枯細菌病 (調査ほ場数：36)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率2.8% (平年10.5%)、発病株率0.7% (平年1.9%)、発病穂率0.0% (平年0.2%) で平年並みであった。	県内全域	少 235
稲こうじ病 (調査ほ場数：中旬22 下旬30)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率13.6% (平年6.0%)、発病株率1.5% (平年0.6%) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率26.7% (平年17.1%)、発病株率1.3% (平年2.0%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 470 少 1,411 計 1,881

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イネ トビイロウンカ (調査ほ場数：中旬64、 下旬48)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率90.6% (平成35.0%)、10株当たり虫数111.0頭(平 年10.1頭)、10株当たり短翅型成虫数7.0頭 (平成0.6頭)で平成に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率64.6% (平成36.9%)、10株当たり虫数52.5頭(平 年22.1頭)、10株当たり短翅型成虫数0.7頭 (平成0.2頭)で平成に比べやや多かった。 定期巡回調査経路上における坪枯れ発生 ほ場視認調査では、中旬調査：1345ほ 場、下旬調査：269ほ場で発生が認められ た。	県内全域	甚 470 多 2,351 中 3,998 少 6,820 計 13,639
コブノメイガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率75.0% (平成37.9%)、被害株率31.2%(平成 10.8%)、被害葉率3.2%(平成1.1%)で平 年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率79.2% (平成41.8%)、被害株率9.6%、(平成 14.1%)、被害葉率4.2%(平成1.9%)で平 年に比べやや多かった。	県内全域	多 705 中 1,411 少 9,172 計 11,288
イネクロカメム シ	中旬の巡回調査では発生ほ場率4.8% (平 年0.9%)、25株虫数0.2頭 (平成0.0頭) で平成に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平 年0.3%)、25株虫数0頭 (平成0.0頭) で 平成並みであった。	県内全域	少 470
斑点米カメムシ類 (調査ほ場数：中旬21)	中旬のすくい取り調査における発生ほ場 率38.1% (平成45.1%)、20回すくい取り 虫数0.3頭(平成1.0頭)で平成に比べやや 少なかった。 主要種は、イネカメムシであった。	県内全域	中 235 少 1,646 計 1,881
ニカメイガ	中旬及び下旬の巡回調査では、発生は認 められず、平成並みであった。	—	—
イネカラバエ	中旬の巡回調査では、発生は認められ ず、平成並みであった。	—	—
イネヨトウ	中旬及び下旬の巡回調査では、発生は認 められず、平成並みであった。	—	—

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
ダイズ (調査ほ場数: 21) べと病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年27.6%)、発病株率22.3% (平年18.1%)、発病度6.6 (平年4.6) で平年並みであった。	県内全域	中	41
			少	249
			計	290
葉焼病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年37.6%)、発病株率32.2% (平年23.0%)、発病度9.2 (平年5.9) で平年並みであった。	県内全域	中	41
			少	249
			計	290
立枯性病害(白絹病、黒根腐病)	下旬の巡回調査では、白絹病の発生ほ場率4.8% (平年4.8%)、発病株率0.1% (平年0.1%) で平年並みであった。	県内全域	少	41
葉枯性病害(褐色輪紋病、斑点病)	下旬の巡回調査では、褐色輪紋病の発生ほ場率4.8% (前年0%)、発病株率4.8% (前年0%) であった。	県内全域	少	41
ハスモンヨトウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率52.4% (平年50.0%)、1a 当たり白変か所数1.2か所(平年1.5か所)、1 m ² 当たり虫数19.4頭(平年2.6頭)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率38.1% (平年30.0%)、1a 当たり白変か所数1.0か所(平年1.1か所)、1 m ² 当たり虫数1.6頭(平年1.0頭)で平年並みであった。令期は若中齢がであった。	県内全域	甚	41
			中	41
			少	374
			計	456
吸実性カメムシ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率81.0% (平年59.5%)、1 m ² 当たり虫数0.4頭(平年0.6頭)で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率57.1% (平年65.2%)、1 m ² 当たり虫数0.9頭(平年0.8頭)で平年並みであった。	県内全域	中	166
			少	539
			計	705
サヤムシガ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.4%)、25株当たり被害度は0 (平年0.1) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.0%)、25株当たり被害度は0 (平年0.0) で平年並みであった。	—	—	
ダイズサヤタマバエ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.9%)、被害率0% (平年0.0%) で平年並みであった。	—	—	

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
ダイズ ウワバ類等のチョウ目	中旬の巡回調査では、発生ほ場率66.7% (平年78.3%)、1㎡当たり虫数0.5頭(平年2.4頭)で平年に比べ少なかった。発生種はウワバ類であった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率61.9% (平年65.1%)、1㎡当たり虫数0.9頭(平年0.9頭)で平年並みであった。発生種はウワバ類であった。	県内全域	中 83 少 498 計 581
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年32.4%)、10葉当たり虫数0頭 (平年8.2頭) で平年に比べ少なかった。	—	—
コガネムシ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.0%)、被害度0 (平年0.0) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.0%)、被害度0 (平年0.0) で平年並みであった。	—	—
オオタバコガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率23.8% (平年23.3%)、1㎡当たり虫数0.1頭(平年0.1頭)で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率23.8% (平年8.4%)、1㎡当たり虫数0.0頭(平年0.0頭)で平年に比べ多かった。	県内全域	少 207
ウコンノメイガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率14.3% (平年29.5%)、被害株率1.1% (平年7.0%) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年8.6%)、被害株率0%、(平年0.9%)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	中 41 少 82 計 123

2 果樹

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
カンキツ (調査ほ場数:20) かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.0% (平年10.6%)、発病果率0.4% (平年1.0%)、発病度0.2(平年0.4)で平年並みであった。	県内全域	少 169
黒点病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率95.0% (平年91.7%)、発病果率35.5% (平年37.8%)、発病度7.5(平年10.1)で平年並みであった。	県内全域	中 169 少 902 計 1,071
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平年18.5%)、寄生葉率5.0%(平年2.6%)で平年並みであった。	県内全域	多 56 少 169 計 225
ミカンサビダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年2.5%)、被害果率0%(平年0.2%)で平年並みであった。	—	—

2020年9月

病虫害名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)	
カンキツ アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%（前年30.0%）、寄生新梢率0%（前年1.8%）であった。	—		
ヤノネカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%（前年0.5%）で平年並みであった。	—	—	
イセリアカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%（前年1.5%）で平年並みであった。	—	—	
ナシマルカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0%（前年28.5%）、寄生果率1.6%（前年1.4%）で平年並みであった。	県内全域	中 少 計	113 113 226
チャノキイロアザミウマ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0%（前年18.0%）、被害果率0.9%（前年0.7%）で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 少 計	56 56 112
ナシ (調査ほ場数:15) 黒斑病 (二十世紀およびゴールド二十世紀:9)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3%（前年32.3%）、発病葉率0.1%（前年0.0%）、発病新梢率7.2%（前年4.1%）で平年並みであった。	県内全域	甚 多 少 計	10 10 10 30
黒星病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0%（前年11.1%）、発病葉率0.8%（前年0.4%）で平年に比べやや多かった。	県内全域	少	34
うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%（前年1.5%）、発病葉率0%（前年0.1%）で平年並みであった。	—	—	
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率13.3%（前年20.7%）、寄生葉率0.4%（前年2.8%）で平年並みであった。	県内全域	少	23
ナシヒメシクイ	萩市小川におけるナシヒメシクイのフェロモントラップによる9月の誘殺数は、14頭（前年33頭）で平年に比べやや少なかった。	—	—	
チュウゴクナンキジラミ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%（前年14.3%）、寄生葉率0%（前年0.9%）で平年に比べ少なかった。	—	—	
果樹全般 カメムシ類 (チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)	予察灯（県内5か所、8月21日～9月20日合計）における誘殺数は318頭（前年384頭）で平年並みであった。主要種はチャバネアオカメムシであった。	県内全域	—	

3 野菜

2020年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
キャベツ (調査ほ場数:7) モンシロチョウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率14.3% (平年7.5%)、10株当たり虫数0.1頭 (平年0.1頭) で平年並みであった。	県内全域	少 15
コナガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年5.2%)、10株当たり虫数0頭 (平年0.0頭) で平年並みであった。	—	—
ヨトウガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年3.7%)、寄生株率0% (平年0.1%) で平年並みであった。	—	—
ハスモンヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年33.6%)、寄生株率0% (平年2.7%) で平年に比べ少なかった。	—	—
シロイチモジヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率28.6% (平年3.6%)、寄生株率1.1% (平年0.1%) で平年に比べ多かった。	県内全域	中 15 少 15 計 30
オオタバコガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年5.9%)、寄生株率0% (平年0.2%) で平年並みであった。	—	—
ハイマダラノメイガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.8%)、寄生株率0% (平年0.1%) で平年並みであった。	—	—
ウワバ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年4.5%)、寄生株率0% (平年0.2%) で平年並みであった。	—	—
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年19.2%)、寄生株率0% (平年1.5%) で平年に比べやや少なかった。	—	—
トマト(雨よけ) (調査ほ場数:3) 灰色かび病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0%)、発病株率0% (平年0%)、発病度0 (平年0) で平年並みであった。 ゴーストスポット発生果率は7.3% (平年5.9%) であった。	—	—

2020年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
トマト (雨よけ) アブラムシ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年0%)、発病株率0.7% (平年0%) で平年に比べ多かった。	県内全域	少	4
コナジラミ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率66.7% (平年18.5%)、寄生株率18.7% (平年1.3%) で平年に比べ多かった。	県内全域	多 少	4 4
			計	8
夏秋ナス (調査ほ場数:3) ハダニ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率66.7% (平年43.3%)、寄生葉率9.0% (平年5.4%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	多 少	45 45
			計	90
アザミウマ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率66.7% (平年8.3%)、寄生葉率1.7% (平年0.1%) で平年に比べ多かった。	県内全域	少	90
イチゴ (調査ほ場数:10) うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年11.0%)、発病株率0% (平年2.0%)、発病葉率0% (平年0.8%) で平年に比べやや少なかった。	—	—	—
炭疽病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (前年0%)、発病株率0% (前年0%) であった。	—	—	—
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率40.0% (平年23.1%)、寄生株率1.4% (平年4.6%) で平年並みであった。 主要種はワタアブラムシであった。	県内全域	少	20
ハスモンヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年11.6%)、寄生株率0% (平年0.4%) で平年に比べやや少なかった。	—	—	—
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0% (平年13.2%)、寄生株率20.2% (平年3.1%) で平年に比べ多かった。 主要種はナミハダニであった。	県内全域	甚 中 少	5 5 15
			計	25
コナジラミ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0% (平年12.3%)、寄生株率8.2% (平年2.2%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	甚	5
オオタバコガ、 シロイチモジヨ トウ	下旬の巡回調査では、発生は認められず、平年並みであった。	—	—	—

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)																		
野菜、花き類 アブラムシ類	山口市大内の黄色水盤トラップによる9月の誘殺数は、225頭(平成29年295頭)で平成並みであった。	—	—																		
ハスモンヨトウ	山口市大内のフェロモントラップによる9月の誘殺数は、2,227頭(平成4,335頭)で平成に比べやや少なかった。 県内他地点のフェロモントラップによる8月21日～9月20日の誘殺数は、下記のとおり。 フェロモントラップでの誘殺数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>本年</th> <th>平成</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>周南市熊毛</td> <td>4,449</td> <td>4,654</td> </tr> <tr> <td>山口市阿東</td> <td>1,324</td> <td>1,023</td> </tr> <tr> <td>萩市明木</td> <td>315</td> <td>295</td> </tr> <tr> <td>下関市清末</td> <td>3,416</td> <td>1,725</td> </tr> <tr> <td>柳井市伊陸</td> <td>3,408</td> <td>2,109</td> </tr> </tbody> </table> ※8月21日～9月20日の合計	地点	本年	平成	周南市熊毛	4,449	4,654	山口市阿東	1,324	1,023	萩市明木	315	295	下関市清末	3,416	1,725	柳井市伊陸	3,408	2,109	県内全域	—
地点	本年	平成																			
周南市熊毛	4,449	4,654																			
山口市阿東	1,324	1,023																			
萩市明木	315	295																			
下関市清末	3,416	1,725																			
柳井市伊陸	3,408	2,109																			
オオタバコガ	山口市大内のフェロモントラップによる9月の誘殺数は、143頭(平成95頭)で平成に比べやや多かった。	—	—																		
シロイチモジヨトウ	山口市大内のフェロモントラップによる9月の誘殺数は、7頭(平成76頭)で平成に比べ少なかった。	—	—																		
コナガ	山口市大内のフェロモントラップによる9月の誘殺数は、12頭(平成9頭)で平成並みであった。	—	—																		

お問い合わせ先 山口県病害虫防除所
 TEL (083)927-4006
 E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp